

# 「原発事故終わっていない」

## 脱原発訴え 各地で

東日本大震災から5年の11日夜、脱原発を求める集会が首相官邸周辺であった。市民ら約6千人（主催者発表）が「再稼働反対」「事故は終わっていない」と訴えた。

原発事故後、毎週金曜夜に首相官邸前で抗議行動を続ける市民団体「首都圏反原発連合」が主催し、デモはこの日で187回目。祖父母が福島県に住む津田塾大2年の溝井萌子さん（20）は「原発に頼らない社会をつくるために声を上げ続けたい」と話した。

小泉純一郎元首相は同夜、都内であったドキュメンタリー映画「日本と原発4年後」の上映会であり、さつに立ち、「粘り強く脱原発運動を続けて欲しい」と

と語った。

大阪では午後6時すぎ、関西電力本店周辺に原発再稼働に反対する市民ら約200人が集まり「すべての原発、いまずぐ廃炉」などと声をあげた。

大津地裁が関西電力高浜原発3、4号機の運転を差し止める仮処分決定を9日に出したばかり。大阪府高石市の病院職員、阪口政雄さん（47）は「関電は仮処分決定に異議申し立てをしないで。人間が原発を扱うのは無理だ」と話した。

明を内閣府と経済産業省、東電に送った。

日本被団協は声明で、原発事故の全ての被害者に健康管理手帳を速やかに交付するよう改めて要請。エネルギー・電力政策を「原子力依存型」から再生エネルギーの研究、開発、利用に転換するよう求めている。